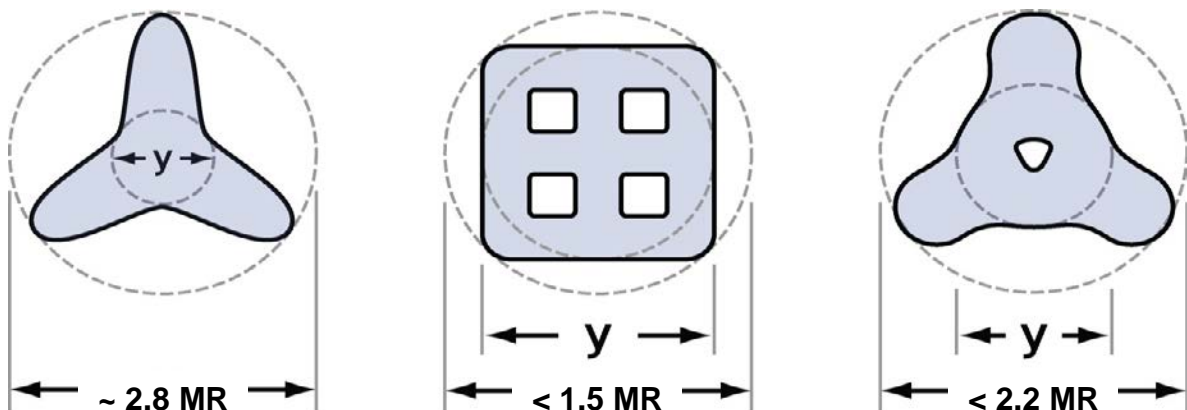


## ファイバーの異径度について

ファイバー形状を説明する際に、「異径度 (MR)」と呼ばれる業界で認められた測定方法が存在します。ファイバー形状の MR (Modification Ratio) を知っていれば、カーペットの仕様作成者は、どのファイバー形状が、次のクリーニングまでに多量あるいは少量の汚れを蓄積するかを判断することができます。

ファイバー形状の異径度を算定するには、ファイバーの外円周と内円周の大きさを比較します。異径度が大きいほど、ファイバー形状は、汚れを捕捉・蓄積し、擦り切れや摩耗を早期に引き起こす可能性が高くなります。MR2.2 のファイバーは、汚れが中程度または多い場所に推奨され、MR1.5 のファイバーは、汚れが多いまたは非常に多い場所に推奨されます。



$$\text{異径度} = \frac{x}{y}$$

上記の例は、現在市販されているカーペットの典型的な MR を示しています。左側の例は、MR が高いトライローバル構造です。外円が内円に比べてかなり大きいことが見て取れます。異径度が高ければ高いほど、汚れがカーペットの溝の間にある隙間に捕捉されて、クリーニングで除去することが難しくなる可能性が高くなります。中央そして右側のファイバーは、2 つともアントロン®ナイロンの中空糸形状を表しています。中央の四角中空糸の MR は 1.5 以下であり、溝のない滑らかな外部表面は、掃除機による汚れの除去度を向上させます。ファイバーの全長にわたって延びる 4 つの穴は、光を拡散して、次のクリーニングまで蓄積した汚れを目立たないようにします。右側のファイバーの例は、特殊デルタ構造の中空三葉糸で、MR が 2.2 です。この特殊な形状により、色彩明度が上がります。またファイバーの全長にわたって延びている中空は、四角中空糸のような役割を果たして、光を拡散して汚れを見えにくくします。

では、中空糸の穴に泥などが入ることはあるのでしょうか。この穴は、大きさが約 1 万分の 1 インチであり、それは考えられません。泥の粒子はずっと大きいのです。

アントロン®カーペットファイバーの形状は、業界最小の MR を特徴としています\*。このため、汚れの蓄積を最低限に保つことができ、クリーニングが容易になります。カーペットがより長期にわたって外観を保ち、新品のような美観が持続すれば、結果として耐用年数も伸びるのです。

さらに詳しい情報については、[www.antron.jp](http://www.antron.jp) をご覧ください

本技術情報は、インビスタ社に帰属するものであり、いかなるデータ、資料またはテスト結果を使用、印刷または頒布する許可あるいはライセンスを与えるものではありません。インビスタ社は、本情報に含まれるいかなる情報の使用に関して一切責任を負いません。

\*日本の業務用カーペット市場において販売されている代表的なカーペットファイバーサンプルに基づきません。